

— 令和 3(2021 年) 年 4 月 —

令和 2 年(2020 年)度事業報告書及び収支決算報告書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

公益財団法人日本化学研究会

令和2年(2020年)度事業報告書

資料 1

公益財団法人 日本化学研究会

I. 事業の状況

① 化学研究に対する助成（定款第4条第1号） 4,200,000円

氏名	所属機関／職名	研究課題	助成金額
栗田 大輔	弘前大学農学生命科学部/准教授	ペプチド解離因子 RF2 による終止コドン非依存的翻訳終結の分子メカニズムの解	600,000円
大野 美紗	岩手大学/助教	マウス消化管におけるキチンの消化吸收動態の解析	600,000円
笠松 秀輔	山形大学学術研究員/助教	混合ガラス系における超イオン伝導性の機構解明	600,000円
河合 寿子	山形大学理学部/助教	蛍光プローブを用いた光合成依存的なオルガネラ間コンタクトサイトの検出	600,000円
佐藤 徹雄	仙台高等専門学校/准教授	低原子価9族元素アート錯体を用いた低活性共有結合の切断過程の解明	600,000円
筒浦さとみ	新潟大学/特任助教	ストレス環境下における黄色ブドウ球菌毒素の菌体内の保持量とモデル系胃腸液による菌体からの溶出	600,000円
生駒 忠明	新潟大学理学部/教授	スピン操作による三重項エネルギーの有効利用	600,000円

② 化学情報の流通に関する研究及び事業に対する助成（定款第4条第2号） 600,000円

氏名	所属機関／職名	研究課題	助成金額
笠井香代子	宮城教育大学/教授	結晶構造データを活用した分子構造 ICT 教材ライブラリの構築と教育実践研究	600,000円

③ 海外渡航に対する助成（定款第4条第3号） 0円

氏名	所属機関／職名	研究課題	助成金額
中川 裕子	一関工業高等専門学校/准教授	第3回 LPMO(多糖溶解性モノオキシゲナーゼ) シンポジウム、オスロノルウェー (2020, 8. 30-9. 4)	(250,000円)

採択通知を送ったところ、新型コロナウイルスの関係で会議自体が中止となったので辞退すると連絡があったので助成合計金額は0円とした。

④ その他の事業関係（定款第4条第4号）

本財団法人の目的を達成するための事業関係の理事間協議、各選考委員会等の開催。

II. 庶務の概要

(1) 役員に関する事項

2021年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
理事長	非常勤	西野 徳三	平 29. 6. 18	業務の総括	あり	東北大学名誉教授	平成 15. 5
常務理事	非常勤	松本 繁	平 29. 6. 18	会計	あり	東北大学名誉教授	平成 8. 5
常務理事	非常勤	飛田 博実	平 29. 6. 18	庶務・事業	あり	東北大学名誉教授	平成 19. 5
理事	非常勤	根東 義則	平 29. 6. 18		あり	東北大学教授	平成 25. 8
理事	非常勤	中山 亨	平 29. 6. 18		あり	東北大学教授	平成 29. 6
理事	非常勤	岩本 武明	平 29. 6. 18		あり	東北大学教授	平成 29. 6
監事	非常勤	寶澤 光紀	平 29. 6. 18		あり	東北大学名誉教授	平成 15. 5
監事	非常勤	伊藤 翼	平 29. 6. 18		あり	東北大学名誉教授	平成 17. 5

◇備考の年月は最初の就任の年月。

(2) 評議員に関する事項

2021年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	報酬	現職	備考
評議員	非常勤	池上 雄作	平成 29.6.18	あり	東北大学名誉教授	
評議員	非常勤	宮野 壯太郎	平成 31.2. 1	あり	東北大学名誉教授	
評議員	非常勤	村松 隆	令和 2.11.17	あり	宮城教育大学学長	

(3) 職員に関する事項

2021年3月31日現在

職名	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当事務	手当	備考
事務局長	非常勤 (常勤職員なし)	西野 徳三	平成29. 6. 18	庶務・会計	なし	理事長が兼務

(4) 会議等に関する事項

①理事会

開会年月日	議事事項	会議の結果
第194回理事会 決議の省略による 理事会 決議があったも	1. 令和元年度事業報告書(案)について 2. 令和元年度収支決算報告書(案)について 3. 令和2年度化学研究連絡助成事業の選考について	原案どおり承認・可決した 原案どおり承認・可決した 原案どおり承認・可決した

のとみなされた 日 2020年5月25 日	<p>今年度は化学研究助成に7件、情報研究助成に1件、海外渡航助成1件が選考委員会によって選考された。ただし海外渡航助成はその後辞退された。</p> <p>4. 次回の定時評議員会の開催について 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面によるみなし決議で実施することにした。</p> <p>5. 理事長及び常務理事の職務執行状況について</p>	<p>認した</p> <p>原案どおり承認した</p> <p>報告事項</p>
第195回理事会 決議の省略による 理事会 決議があったものと みなされた 日 2020年11月 2日	<p>1. 2021年度化学研究連絡助成事業の募集について</p> <p>2. 臨時評議員会の開催について</p> <p>3. 理事長及び常務理事の職務執行状況について</p>	<p>原案どおり承認した</p> <p>原案どおり承認した</p> <p>報告事項</p>
第196回理事会 決議の省略による 理事会 決議があったものと みなされた 日 2021年3月 10日	<p>1. 令和3年度事業計画(案)について</p> <p>2. 令和3年度収支予算(案)について</p> <p>3. 理事・監事及び評議員の報酬並びに費用等に関する規程施行細則の一部改正について</p> <p>4. 理事長及び常務理事の職務執行状況について</p>	<p>原案どおり承認した</p> <p>原案どおり承認した</p> <p>原案どおり承認・可決した</p> <p>報告事項</p>

②評議員会

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
決議及び報告の 省略による第92 回評議員会 決議及び報告が あったものと みなされた日 令和2年6月1日	<p>1. 令和元年度の事業報告(案)について</p> <p>2. 令和元年度の収支決算報告(案)について</p> <p>3. 令和2年度化学研究連絡助成事業の選考結果について</p> <p>4. 報告事項 令和2年度の事業計画及び収支予算書について</p> <p>5. その他 (1) 監査報告書の確認を行った。 (2) 第194回理事会(5月25日)議事録の確認を行った。 (3) 日本化学会「化学遺産」認定候補推薦書について説明を行った。</p>	<p>原案どおり承認した</p> <p>原案どおり承認した</p> <p>全員一致で承認した</p> <p>了承した</p>

令和2年11月17日、第93回臨時評議員会	1. 「理事・監事及び評議員の報酬並びに費用等に関する規程における役員等への報酬等の総額及び支給の基準」の一部変更について	全員一致で承認した
	2. 古山種俊 評議員の辞任の承認と後任評議員の選任について (1) 古山種俊評議員の辞任について (2) 続いて定款第11条により、後任の評議員の人選に入り、評議員会で候補者として推薦された村松 隆 宮城教育大学学長について履歴書等を基に選任を行った。 その就任の依頼を本人に伝えたところ就任を承諾した	全員議決承認した 全員一致で選任された

③選考委員会（令和2年度化学研究連絡助成金交付者の選考）

開会年月日	議 事 事 項	会議の結果
[化学研究選考委員会]		
令和2年4月29日（Web会議にて）	申請12件につき審議した結果、そのうち7件の採択を決め、理事会に報告することとした。	全員一致で承認した
[情報研究・事業選考委員会]		
令和2年4月3日（書類選考にて）	申請1件につき審議した結果、1件の採択を決め、理事会に報告することとした。	全員一致で承認した
[海外渡航選考委員会]		
令和2年5月3日（書類選考にて）	2件の応募があったが、内1件は選考前に会議の中止のために辞退と通知があった。残り1件を審議した結果、採択となり、理事会に報告することとした。 採択通知を行ったところ、新型コロナの関係で会議が中止となったので辞退すると連絡があった。	全員一致で承認した

(5) 許可、認可、承認、証明等に関する事項
なし

(6) 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
「該当なし」		

(7) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額	受領金額	備考

「該当なし」

(8) 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指 示 事 項	履 行 状 況
「該当なし」		

(9) その他の重要事項（官公庁関係事項）

1. 令和2年 6月 2日 内閣府へ令和元年度の事業報告書等に係る提出書をポータルサイトから送信し、7月14日完了した。
2. 令和2年 12月 3日 内閣府へ評議員変更届の手続きを行った。
3. 令和3年 3月 15日 内閣府へ令和3年度の事業計画および予算書、第196回理事会議事録等をPDFにしてポータルサイトから送信した。

以 上

令和2年(2020年)度収支決算報告書

収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(公財)日本化学研究会

(単位: 円)

科 目	令和2年度 予算額	令和3年3月末日 決算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 基本財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
: みずほ信託銀行仙台支店	3,500	1,760	△ 1,740	
2 運用財産運用益				
(1) 定期預金受取利息				
: みずほ信託銀行仙台支店	18,000	16,130	△ 1,870	
及び七十七銀行				
(2) 普通預金受取利息				
: みずほ信託銀行仙台支店	0	63	63	
及び七十七銀行				
(3) 株式配当金計	1,350,000	1,336,680	△ 13,320	
: (株)三菱ケミカル HD		595,200		
: AGC (株)		741,480		
3 雑収入	0	0		
(1~3 小計)	1,371,500	1,354,633	△ 16,867	
4 特定資産取崩収入				
・化学研究連絡助成資金				
積立預金取崩収入	8,000,000	7,000,000	△ 1,000,000	
当期収入合計 (A)	9,371,500	8,354,633	△ 1,016,867	
前期繰越収支差額	4,092,350	4,092,350	0	
収入合計 (B)	13,463,850	12,446,983	△ 1,016,867	

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費				
助成費計	5,000,000	4,800,000	△ 200,000	
・化学研究助成費		4,200,000		7 件
・情報研究・事業助成費		600,000		1 件
・海外渡航助成費		0		0 件
・事業執行経費	1,980,000	1,890,372	△ 89,628	
(事業費合計)	6,980,000	6,690,372	△ 289,628	
2 管理費				
・役員等報酬	550,000	665,000	115,000	
・退職給付引当金	130,000	50,000	80,000	
・会議費	150,000	0	△ 150,000	
・旅費交通費	350,000	240,020	△ 109,980	
・通信運搬費	150,000	183,792	33,792	
・消耗品費	10,000	6,822	△ 3,178	
・印刷製本費	130,000	119,151	△ 10,849	
・事務室経費	600,000	576,283	△ 23,717	
・保険料	0	0	0	
・諸謝金	10,000	0	△ 10,000	
・租税公課	0	0	0	
・手数料	20,000	13,560	△ 6,440	
・業務委託料	300,000	300,000	0	
(管理費合計)	2,400,000	2,154,628	△ 245,372	
当期支出合計 (C)	9,380,000	8,845,000	△ 535,000	
Ⅲ 収支差額				
当期支出差額 (A) - (C)	△ 8,500	△ 490,367	△ 481,867	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	4,083,850	3,601,983	△ 481,867	

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで (公財) 日本化学研究会

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
1一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	1,760	1,760
基本財産受取利息	0	1,760	1,760
特定資産運用益	1,352,873	0	1,352,873
特定資産受取利息	16,193	0	16,193
特定資産受取配当金	1,336,680	0	1,336,680
雑収益	0	0	0
経常収益計	1,352,873	1,760	1,354,633
(2) 経常費用			
事業費	6,690,372		6,690,372
役員報酬	385,000		385,000
会議費・選考経費	50,000		50,000
旅費交通費	279,000		279,000
通信運搬費	154,162		154,162
消耗品費	0		0
印刷製本費	135,956		135,956
賃貸料光熱費	573,274		573,274
諸謝金	0		0
支払助成金	4,800,000		4,800,000
手数料	12,980		12,980
業務委託費	300,000		300,000
管理費		2,154,628	2,154,628
役員報酬		665,000	665,000
退職給付引当金		50,000	50,000
会議費		0	0
旅費交通費		240,020	240,020
通信運搬費		183,792	183,792
消耗品費		6,822	6,822
印刷製本費		119,151	119,151
賃貸料光熱費		576,283	576,283
諸謝金		0	0
手数料		13,560	13,560
業務委託料		300,000	300,000
経常費用計	6,690,372	2,154,628	8,845,000
当期経常増減額	△ 5,337,499	△ 2,152,868	△ 7,490,367
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券当期評価損益	16,818,889	0	16,818,889
経常外収益計	16,818,889	0	16,818,889
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	16,818,889	0	16,818,889
当期一般正味財産増減額	11,481,390	△ 2,152,868	9,328,522
一般正味財産期首残高	230,571,481	21,892,270	252,463,751
一般正味財産期末残高	242,052,871	19,739,402	261,792,273

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

(単位:円)

科 目	当 年 度	令和2年3月31日	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,601,983	4,092,350	△ 490,367
流動資産合計	3,601,983	4,092,350	△ 490,367
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
化学研究連絡助成資金	174,000,000	181,000,000	△ 7,000,000
有価証券	49,190,290	32,371,401	16,818,889
退職給付引当資産	590,000	610,000	△ 20,000
特定資産合計	223,780,290	213,981,401	9,798,889
(3) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	258,780,290	248,981,401	9,798,889
資 産 合 計	262,382,273	253,073,751	9,308,522
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
2. 固定負債			
退職給付引当資産	590,000	610,000	△ 20,000
負 債 合 計	590,000	610,000	△ 20,000
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	261,792,273	252,463,751	9,328,522
(うち基本財産への充当額)	35,000,000	35,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	223,780,290	213,981,401	9,798,889
正 味 財 産 合 計	261,792,273	252,463,751	9,328,522
負債および正味財産合計	262,382,273	253,073,751	9,308,522

退職慰労金の支給に備えるため、退職給付引当金を計上しており「財務諸表に対する注記」に注記している。

財産目録

令和3年3月31日現在

(公財) 日本化学研究会

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
・現 金 現金手許有高	56,883		
・普通預金:みずほ信託銀行仙台支店	391,504		
・普通預金:七十七銀行旭ヶ丘支店	3,153,596		
流動資産合計		3,601,983	
2. 固定資産			
(1)基本財産			
・定期預金: みずほ信託銀行仙台支店	35,000,000		
基本財産合計	35,000,000		
(2)特定資産			
化学研究連絡助成資金			
・定期預金:みずほ信託銀行仙台支店	174,000,000		
・定期預金:七十七銀行吉成支店	0		
有価証券(株券)			
・三菱ケミカルHD(株) 24,800株	20,581,520		
・旭硝子(株) 6,179株	28,608,770		
退職給付引当資産:七十七銀行本店	590,000		
特定資産合計	223,780,290		
固定資産合計		258,780,290	
資産合計			262,382,273
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
退職給付引当資産		590,000	
固定負債合計		590,000	
負債合計			590,000
正味財産			261,792,273

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

特定資産である有価証券(株券)は、本年度期末日の市場価格に基づく時価法によっている。評価額は次のとおりである。

2. 有価証券の評価価格は次のとおりである。

	(株)三菱ケミカル HD	AGC(株)	計
株 数	24,800	6,179	30,979
取得価格	1,431,547	1,444,940	2,876,487
令和2年3月31日現在評価： 令和2年度期首			
株 数	24,800	6,179	
株 価	642.8	2,659	
評価額	15,941,440	16,429,961	32,371,401
当期評価損益	△3,387,680	△7,544,559	△10,932,239
令和3年3月31日現在評価： 令和3年度期首			
株 数	24,800	6,179	
株 価	829.9	4,630	
評価額	20,581,520	28,608,770	49,190,290
当期評価損益	4,640,080	12,178,809	16,818,889
発行株数	1,506,288,107	227,441,381	
持株比率	0.0001646%	0.002717%	

3. 引当金の計上

役員退職給付引当金

役員退職慰労金の支給に備えるため内規に基づく期末支給額を計上している。

4. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額 及びその残高(引当金の明細)

(単位:円)

科 目	資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
				目的使用	その他	
特定資産	退職給付引当金	610,000	50,000	70,000	0	590,000

以 上